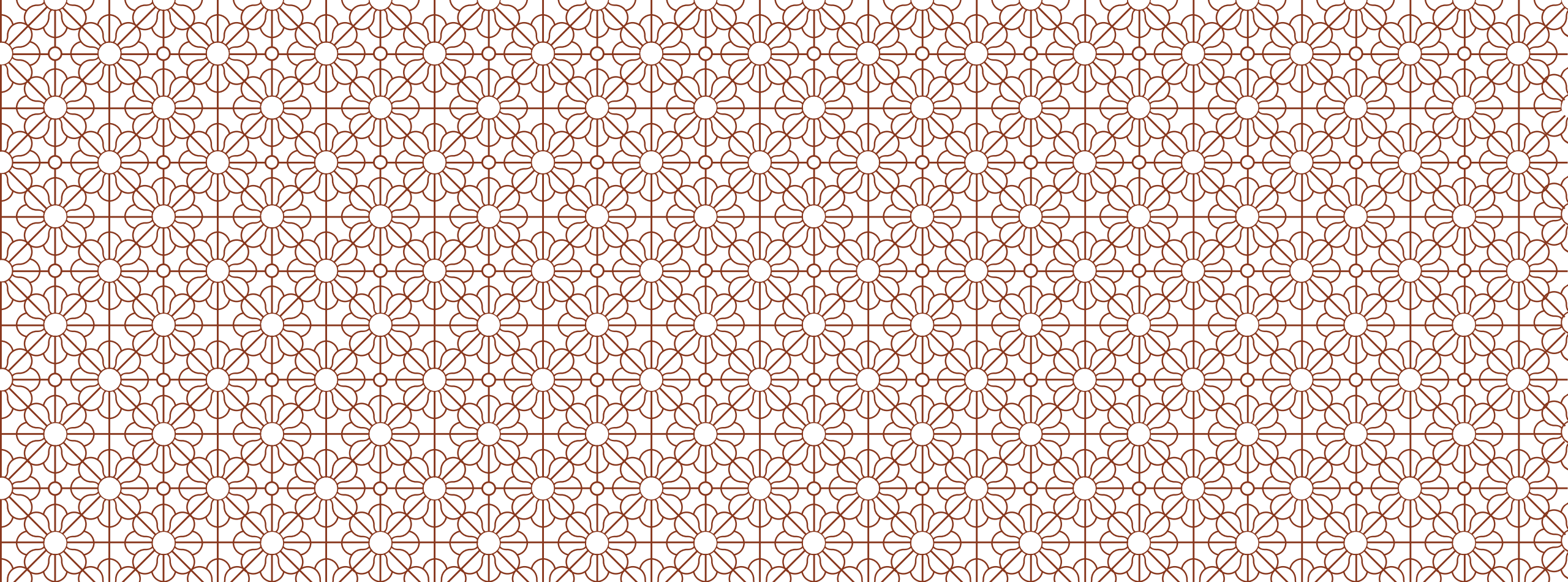




日野市保育の質ガイドライン 策定委員会 第11回

令和6年11月26日（火）

14時～16時

みらいく 多目的室

日野市子ども部保育課

本日の流れ

1. 開会
2. 前回までの振り返り
3. ワーキンググループアンケート結果について
4. チェックリストについて
5. 事例修正（第3回WG分）
6. その他
7. 閉会

前回までの振り返り

■ ガイドライン本文等の修正

- ・ ガイドラインの本文等に関する意見交換
- ・ チェックリストにおける意見交換

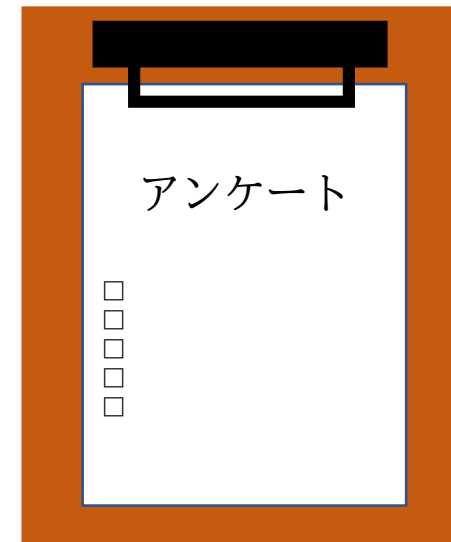
■ 事例確認（WG第1回～2回分）

- ・ 全体の内容確認
- ・ 「キーワード」や「一言コメント」の確認

3. ワーキンググループアンケート結果 について

- 第6回WG（11/19）で実施した
アンケート結果を共有

回答者数：45名



Q3. 本ワーキンググループの感想をお聞かせください。



(主な意見)

- ・事例集のブラッシュアップを通して、他園の保育の環境・取り組みを知ることが出来、自分の園に取り入れたい事・参考にしたい事例に出会うことが出来た。
- ・日野市内の全保育園、公立も民間も一緒に力を合わせる事業に意義があると思った。
- ・今まで他園と交流をしたり園の情報を知る機会がなかったので、情報共有の良いきっかけとなって良かった。

Q 4. 本ワーキンググループを通して、得られたものは何かありますか？

(主な意見)

- ・ 様々な事例を見ることが参考になったし、自分達なりにブラッシュアップして討議する経験がスキルアップにも繋がったと思う。
- ・ 保育にまつわる事柄に関して、じっくりと対話をすることの良さを改めて実感しました。
- ・ 実は、私たちがやっていることは、自信を持っていいんだ！プロ意識をしっかりとって保育したい！と思いました。

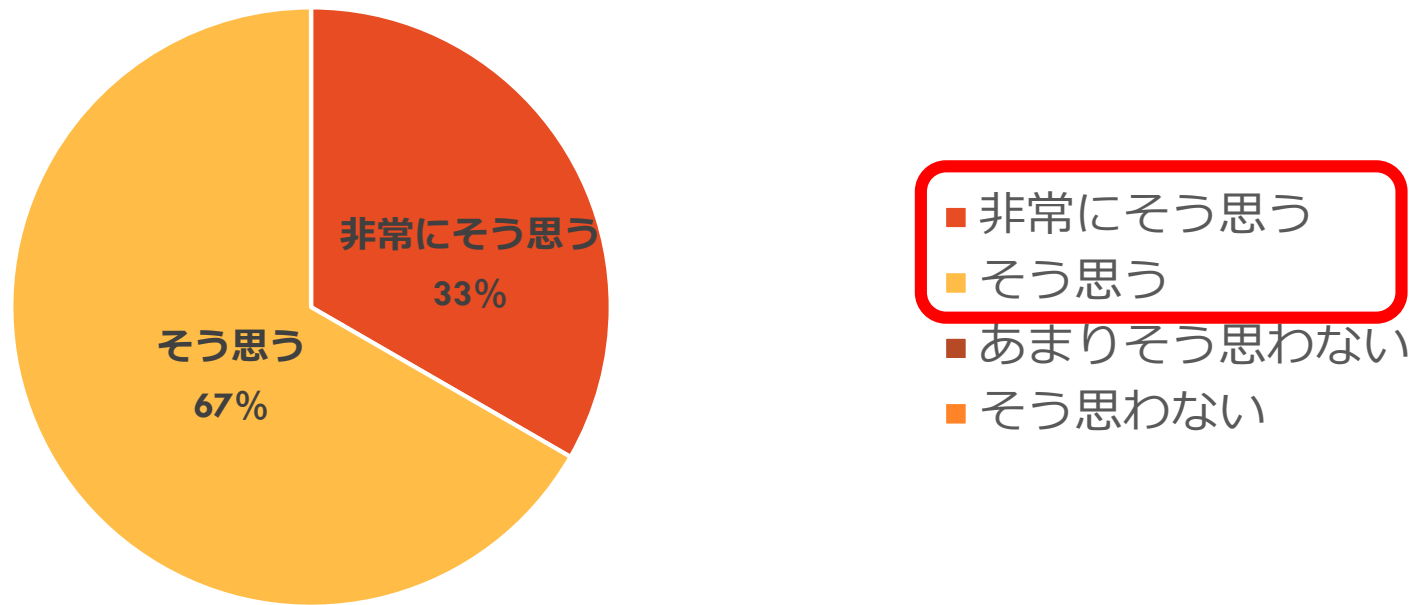
Q 5. 事例のブラッシュアップ（グループワーク）を通して、他園の事例や保育のやり方等は参考になりましたか？



（主な意見）

- ・ グループワークをする事でいろいろな考え方がある事を知り、視野が広がりました。
- ・ 環境は違うが工夫次第では取り入れられるものや考え方など、とても参考になった。
- ・ 良いか悪いかできるかできないかは別として、保育事例を通して保育の柔軟な物事の考え方ができるようになった気がする。

Q 6. 他園の事例や保育のやり方について、自分の園に持ち帰って実践してみたいと思いますか？



(主な意見)

- ・ 乳児、幼児と全年齢の内容を共有できたので、自分のクラス関係なく、全クラスで共有し合って保育を進めていけるようにしていきたいです。
- ・ しっぽ取りゲームや椅子取りゲームなどルールにとらわれていたので他園のゲームルールの工夫が面白いと思ったので実践してみたいです。
- ・ 行事等については、園の環境等が違うところもあるので、そのまま実践するのは難しいと思いますが、ヒントにさせていただきたいと思いました。

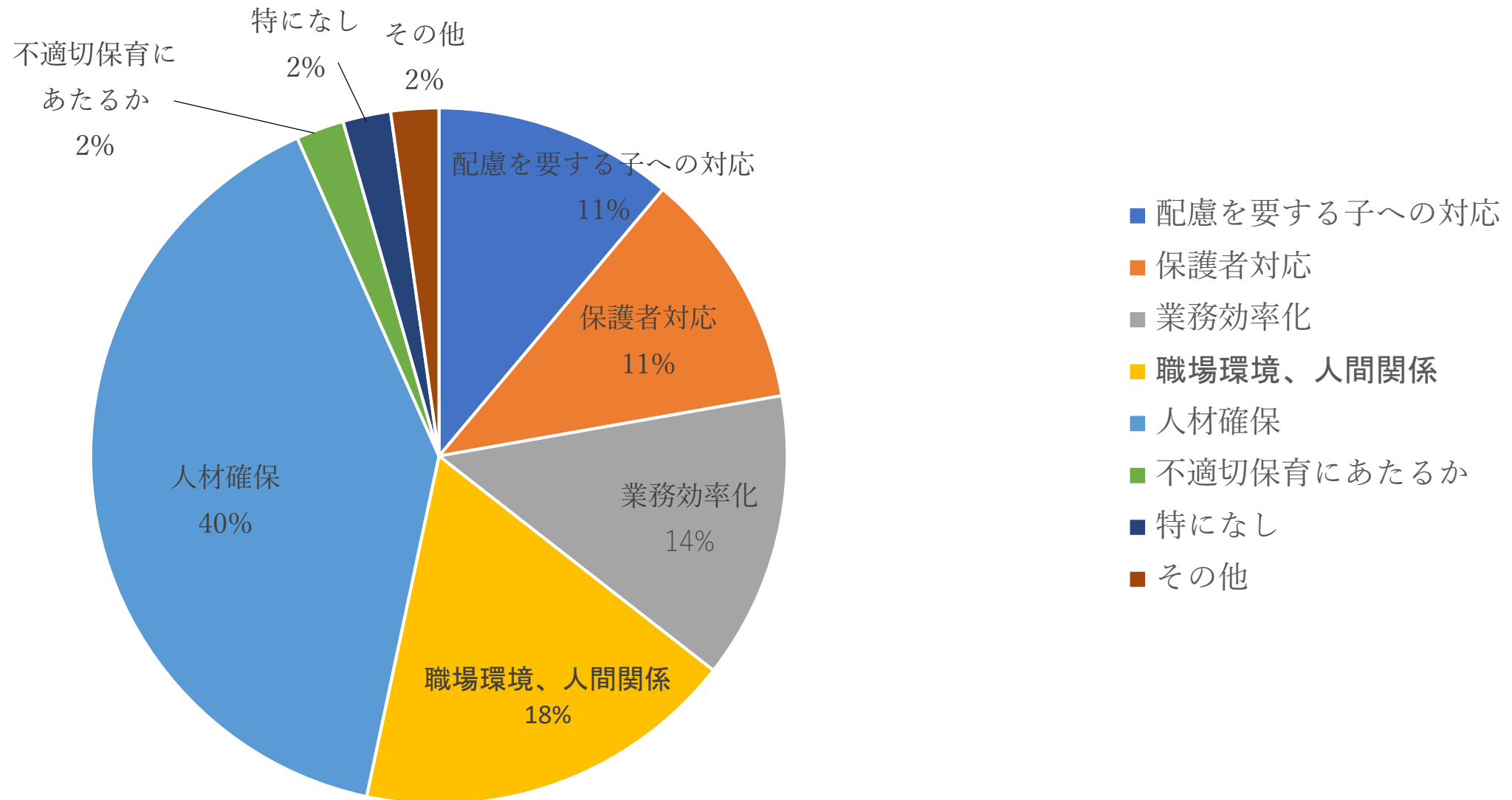
Q 7. ワーキンググループの開催頻度（約月 1 回）については、
適切でしたか？

多い	5 人（11 %）	適切	<u>40 人（89 %）</u>	少ない	0 人（0 %）
----	-----------	----	-------------------	-----	----------

Q 8. ワーキンググループの実施時間（2 時間）については、
適切でしたか？

長い	0 人（0 %）	適切	<u>45 人（100 %）</u>	短い	0 人（0 %）
----	----------	----	--------------------	----	----------

Q 6. 普段の保育の中で、あなたが一番困っていること、悩んでいることは何ですか？



Q 1 0. そのほか、保育で課題だなと感じていることはありますか？

(主な意見)

- ・ 人材不足の中で、保育の質を求められる事が多い。
- ・ 保育士同士が子どもの姿を共有する時間がない
- ・ 子ども主体の保育に対しての理解や進め方
- ・ 年々変化する保育情勢において、その変化などに職員が周知して保育に反映すること。
特に経験を積むと価値観などが凝り固まる。
- ・ 年々、保育園としての在り方と保護者が求めていることの相違が生まれている気がする
ので、その辺りをどのように保育に取り入れていくかが課題だと感じる。
- ・ しつけが不適切保育になるか？不適切保育が取り上げられてる今 考えることがよくある。
- ・ 無理難題を言ってきたりすぐにキレル保護者。そういう保護者がいるとみんな退職していく。

Q 1 1 . 保育の質の向上のためには、何が必要だと思いますか？

(主な意見)

- ・ 職員の意識統一と、コミュニケーション。
- ・ 研修の充実。他保育園との意見交換など。
- ・ 必要な人員の確保と事務量の簡素化。
- ・ 日々の保育のふりかえりが必要だと思います。
- ・ 互いに共有し合える、互いに向上し合える環境をつくっていくことが大切だと思います。
- ・ 保育士自身の成長だけでなく、働く環境や社会的地位の向上、さらには現場の支援体制の整備が必要であると思います。保育士がやりがいを持ち、安心して働ける環境を作ること、子どもたちへの保育の質も自然と向上していくかと思っています。
- ・ 他園の保育を知るという事でグループワークがあると良いと感じました。

Q 1 2. 保育の質の向上を目的とする研修について、どのような研修があったら参加したいと思いますか。

(主な意見)

- ・ 保護者対応、クレーマー対応等
- ・ 気になる子の対応、クラス運営など
- ・ 保育運営に関する研修。若手保育士には技術向上のための実践的な研修。
- ・ 事務仕事の効率化。運動会、発表会の進め方（台本、指導等細かいこと。）
- ・ 子ども主体の保育の実践事例、子どもが主体的に過ごせる環境構成
- ・ 保育園のより良い人間関係やより良い連携を取る為に何が大切か？
- ・ 先生同士の保育の仕方や交流の場があったら参加したいです。
- ・ 多文化、多様性保育について
- ・ メンタルヘルスケアとストレスマネジメント

4. チェックリストについて

【チェックリスト主な意見】

- ・【評価基準（例）】に「該当なし」の項目を記載する。
- ・初めの子ども目線の「子どもの権利擁護編」と評価表のチェックの仕方を統一する。
- ・評価日が「第1期」「第2期」「第3期」「第4期」の横に入れられるとよい。
- ・評価時期が四半期だと時間的に厳しいため、半期とかではダメか。
- ・事例集に合わせて作ってあるため、項目が少ない。
- ・「1 保育編」の各項目において、野菜スタンプや和太鼓等、活動のポイントがフォーカスされすぎているため（事例により過ぎているため）、もう少し広い子どもの活動、すべきことの表現方法を検討したほうがよい。
- ・「1 保育編」の「（7）物的環境」の1つ目の内容、「中期的な視点で定期的に保育環境を見直していますか。」の意味がわかりにくい。
- ・「2. 子どもの権利料後編」の「（1）不適切保育・虐待防止」の内容をもう少し詳しく記載する。
- ・「6. 保育者としての専門的見識の理解」の「＜幼保小連携の視点＞」の内容がチェックしづらい。

4. チェックリストについて

【チェックリストの活用方法】

- ・ 園内研修、職員会議のテーマにする。
- ・ 個人やクラスで悩んだ時に確認する。
- ・ 見えるところに置いておく。
- ・ 園のHPにデータを張り、保護者に園を知ってもらうよう活用する。

⇒修正後のチェックリストを再度確認

5. 事例修正（第3回WG分）

第3回WG分（17事例）
確認、修正

※全体の内容、一言コメント、キーワードを中心に確認

委員会・ワーキンググループ日程（予定）

会議	日程	時間	場所	内容(予定)
第6回W.G	R6.11.19(火)	14時～16時	みらいく多目的室	【ブラッシュアップ】【チェックリスト確認】
第11回委員会	R6.11.26(火)	14時～16時	みらいく多目的室	チェックリスト確認・事例集確認（第3回）
第12回委員会	R6.12.24(火)	14時～16時	みらいく多目的室	本文の確認・事例集の確認（第4～6回）
第13回委員会	R7.1.21(火)	14時～16時	みらいく多目的室	最終確認
第14回委員会 & 第8回W.G	R7.3.11(火)	14時～16時	みらいく多目的室	ガイドライン完成品確認

ご参加いただきありがとうございました。

日野市保育の質ガイドライン
策定委員会
第11回

令和6年11月26日（火）
14時～16時
みらいく多目的室

日野市子ども部保育課